



16th TOUR OF JAPAN

2013 5/19 sun ▶ 26 sun

報告書 REPORT



16th TOUR OF JAPAN

<http://www.toj.co.jp>



この報告書は、競輪の補助金により作成しました。
<http://ringring-keirin.jp>



目次 contents

大会実施概要、大会日程、大会役員.....02	第5ステージ【伊豆】競技結果.....14
今中 大介の総括.....03	第6ステージ【東京】競技結果.....16
参加チームリスト.....04	リザルト.....18
第1ステージ【堺】競技結果.....06	広報ツール.....20
第2ステージ【美濃】競技結果.....08	パブリシティ【テレビ】.....21
第3ステージ【南信州】競技結果.....10	パブリシティ【新聞・WEB・雑誌】.....22
第4ステージ【富士山】競技結果.....12	会場風景.....26

大会実施概要

- ◎名称 UCI公認国際自転車ロードレース『16th TOUR OF JAPAN』(アジアツアー・レースクラス 2.1)
- ◎主催 自転車月間推進協議会
- ◎主管 TOUR OF JAPAN 組織委員会(事務局：(一財)日本自転車普及協会)

- ◎競技主管 (公財)日本自転車競技連盟
- ◎競技規則 UCI(国際自転車競技連合)規則及び本大会特別規則による。

- ◎後援 内閣府/総務省/文部科学省/経済産業省/国土交通省/東京都/大阪府/(公財)JKA/朝日新聞社/日刊スポーツ新聞社

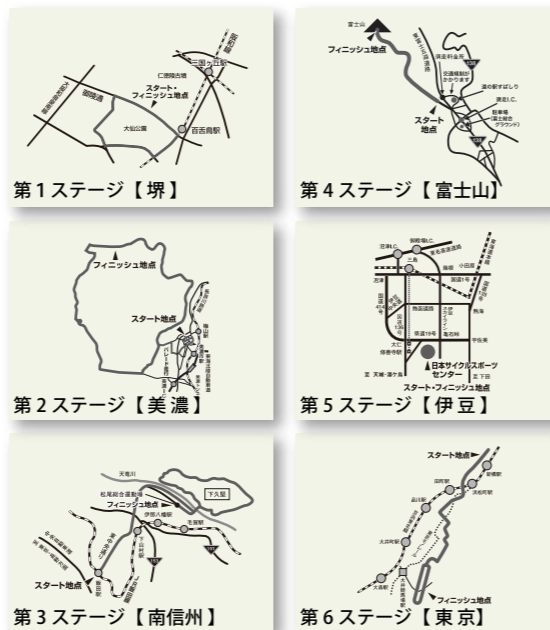
- ◎協力 堺市/岐阜県/美濃市/飯田市/飯田観光協会/小山町(静岡県駿東郡)/伊豆市/(一財)日本サイクリングスポーツセンター/東京港埠頭㈱

- ◎特別協賛 三菱電機㈱/ SPEEDチャンネル/日本トーター㈱/富士重工業㈱

- ◎協賛 ㈱Champion System Japan / THULE / ヤマハ発動機㈱/ダイドードリンコ㈱/㈱シマノ/(一社)自転車協会/アムアススポーツジャパン㈱/㈱ミヤタサイクル/㈱ゼンリン/パナソニックサイクルテック㈱/㈱マトリックス/㈱NIPPO/ブリヂストンサイクル㈱/東京サンエス㈱/㈱インターマックス/㈱オージーケーカプト/東京海上日動火災保険㈱/芙蓉総合リース㈱/㈱深谷産業/みずほ銀行

大会日程 2013年5月19日(日)~26日(日)

5/19(日)【堺】—第1ステージ	2.65km	13:40
5/21(火)【美濃】—第2ステージ	160.7km	9:15
5/22(水)【南信州】—第3ステージ	148.0km	8:45
5/24(金)【富士山】—第4ステージ	11.4km	10:00
5/25(土)【伊豆】—第5ステージ	146.4km	9:30
5/26(日)【東京】—第6ステージ	112.7km	11:00



大会役員

- 会長 The Chairman 石黒 克巳 ISHIGURO Katsumi
- 副会長 Vice-Presidents 渡辺 恵次 WATANABE Keiji 野沢 隆寛 NOZAWA Takahiro
- 監事 Auditor 小林 昭 KOBAYASHI Akira
- 委員長 Committee Chairman 渋谷 良二 SHIBUYA Ryoji
- 副委員長 Committee Vice-Chairman 斧 隆夫 ONO Takao 松倉 信裕 MATSUKURA Nobuhiro

- 委員 Members Committee 新井 茂 ARAI Shigeru 川口 雄 KAWAGUCHI Takeshi 佐藤 成美 SATO Shigemi 長澤 恵一 NAGASAWA Keiichi 加藤 元彦 KATO Motohiko 西村 一人 NISHIMURA Kazuto 中澤 見山 NAKAZAWA Kenzan 福田 悦裕 FUKUDA Yoshihiro 諸星 利雄 MOROBOSHI Toshio 奥田 悦司 OKUDA Etsuji 佐々木正人 SASAKI Masato 中村 雅章 NAKAMURA Masaaki 飯田 太文 IIDA Tamon



みんなが拍手して、
大声援があつて、
あれがやっぱり必要ですね。
僕も見ていて心拍数が上がり
ました。

大会オフィシャルコメンテーター

今中大介の

総括

今年のTOJはクラスがUCI 2.1になつて格が上がり、日本人がちゃんと活躍できるか心配でしたが、蓋を開けてみると、西谷泰治選手(愛三工業レーシングチーム)が最初と最後に勝つてくれた。本当に毎回ドラマがあるし、多くの方に来場いただき、ありがとうございました。

今はネット社会で、情報だけで見た気持ちになつてしまふんですけども、実際に会場に来て、選手の走りを見て、感じることがまた違うと思ふんです。それが16回続いている。日本の自転車のロードレース界を本当に引つ張つてくれている大事な大会だということを、改めて認識しました。

今回もドラマがすごく沢山ありました。最後の東京でも、こんなハラハラするような状況になるとは思いませんでしたし、僕も見ていて、皆さんと一緒に心拍数が上がりました。最後は、3人を追う怒濤の追い上げでしたよね。ランプレの選手が、それを倒れるかくらいの勢いで引つ張つていましたけども、ああいう場面を皆さんが直接見ることができた

というのは大きいです。本当にあれが、世界の走りに直結していますから。

日本人では、総合6位の西蘭良大選手(チャンピオンシステム・プロサイクリングチーム)。彼はちゃんと判断力が付いているし、チームの中でリーダーとして動いていましたね。それで全く落とすところがなかったというのは凄かったですよ。あれは立派だったと思います。それから、西谷選手ですね。任せておいて大丈夫という、安心感があります。この勢いで来年も取つて3連覇してくれるのかなと、それが楽しみです。

大会のクラスが上がつて、それ相應のレースをして欲しいという期待感、それに應える運営になつていたと思ひます。そして、観客の皆さんがレースを作つたところもあると思ひます。東京ステージでは中村誠選手(宇都宮ブリッツェン)が逃げて、みんなが拍手して、大声援があつて、ものすごい盛り上がりでした。あれがやっぱり必要ですね。

今大会から、UCIの獲得ポイントも多くなりました。このポイントは、絶対に取つていかなければならないので、みんな目の色が違いましたよね。次は、どんな世界の強豪と競り合い、このポイントを獲得し、より高みを目指すことができるか、今から楽しみです。(談)

TEAM LIST チームリスト



ランプレ・メリダ ITA (イタリア)

No.	Name / 選手名
1	GRAZIATO Massimo / マッシモ・グラツィアート
2	PALINI Andrea Francesco / アンドレア・フランチェスコ・パリーニ
3	FAVILLI Elia / エリア・ファビッリ
4	RICHEZE Maximiliano / マキシミリアーノ・リケーゼ
5	VIGANÒ Davide / ダビデ・ヴィガノ
6	WACKERMANN Luca / ルカ・ワッケルマン



ヴィーニファンティーニ・セッレイタリア ITA (イタリア)

No.	Name / 選手名
11	MERLO Michele / ミケーレ・メルロー
12	BORCHI Stefano / ステファノ・ボルチ
13	POZZO Mattia / マッティア・ポッツ
14	MILETTA Luigi / ルイーダ・ミレッタ
15	MONGUZZI Cristiano / クリスティアーノ・モングヅジ
16	DE NEGRI Pierpaolo / ピエールパオロ・デネグリ



チームNIPPO・デローザ JPN (日本)

No.	Name / 選手名
81	ARREDONDO Julian David / ジュリアン・デービット・アレドンド
82	BALIANI Fortunato / フォルツナート・バリアーニ
83	COMPAGNARO Simone / シモーネ・カンパニャーロ
84	FUKUSHIMA Shinichi / 福島 晋一
85	NAKANE Hideto / 中根 英登
86	UCHIMA Kohei / 内間 康平



シマノレーシングチーム JPN (日本)

No.	Name / 選手名
91	YASUI Masahiko / 安井 雅彦
92	HATANAKA Yusuke / 畑中 勇介
93	YOSHIDA Hayato / 吉田 隼人
94	NISHIMURA Hiroki / 西村 大輝
95	NONAKA Ryoma / 野中 竜馬
96	IRIBE Shotaro / 入部 正太郎



チャンピオンシステム・プロサイクリングチーム CHN (中国)

No.	Name / 選手名
21	NISHIZONO Ryota / 西園 良太
22	JANG ChanJae / チャン・ジェ・ジャン
23	OJAVEE Mart / マート・オハバー
24	OTHMAN Adiq / アディック・オスマン
25	TANG Wang Yip / ワン・イップ・タン
26	LEWIS Craig / クレイグ・ルイス



ヒューオンサーモン・ジェネシスウェルスアドヴァイザーズ AUS (オーストラリア)

No.	Name / 選手名
31	GIACOPPO Anthony / アンソニー・ジャコッポ
32	CRAWFORD Jai / ジャイ・クロフォード
33	EARLE Nathan / ネイサン・アール
34	DYBALL Benjamin / ベンジャミン・ディボール
—	—
36	COOPER Joseph / ジョセフ・クーパー



ブリヂストンアンカー JPN (日本)

No.	Name / 選手名
101	SHIMIZU Miyataka / 清水 都貴
102	ITAMI Kenji / 伊丹 健治
103	LEBAS Thomas / トマ・ルバ
104	MONIER Damien / ダミアン・モニエ
105	INOUE Kazuo / 井上 和郎
106	HATSUYAMA Sho / 初山 翔



マトリックスパワータグ JPN (日本)

No.	Name / 選手名
111	WIESIAK Mariusz / マリウス・ヴィズィアック
112	KUBOKI Kazushige / 窪木 一茂
113	KIM Dohyoung / キム・ドヒョン
114	IKEBE Sota / 池部 壮太
115	YASUHARA Daiki / 安原 大貴
116	KOMAKI Yuya / 小牧 祐也



ドラバックサイクリング AUS (オーストラリア)

No.	Name / 選手名
41	LAPTHORNE Darren / ダレン・ラフォーン
42	PALMER Thomas / トーマス・パルマー
43	HUCKER Robbie / ロビー・ハッカー
44	SULZBERGER Bernard / ベルナルド・サルツバーガー
45	GOESINEN Floris / フロリス・ゴジネン
46	WALKER William / ウィリアム・ウォーカー



KSPO KOR (韓国)

No.	Name / 選手名
51	PARK Sung baek / パク・ソンバク (朴晟伯)
52	YEON Je Sung / ヨン・ジェソン (延濟成)
53	SEO Joon yong / ソ・ジョンヤン (徐俊鏞)
54	CHOI Seung woo / チェ・シヨウウ (崔昇宇)
55	JUNG Ji min / ジャン・ジミン (鄭址旻)
56	KWON Soon yeong / クォン・サンイェン (權順榮)



宇都宮ブリッツェン JPN (日本)

No.	Name / 選手名
121	HORI Takaaki / 堀 孝明
122	FUKUHARA Masaru / 普久原 奨
123	NAKAMURA Makoto / 中村 誠
124	IINO Tomoyuki / 飯野 智行
125	SUZUKI Motonari / 鈴木 近成
126	GUNJI Masaki / 郡司 昌紀



チームUKYO JPN (日本)

No.	Name / 選手名
131	KANO Tomoya / 狩野 智也
132	DOI Yukihiko / 土井 雪広
133	YAMASHITA Takahiro / 山下 貴宏
134	SHIMADA Yoshiaki / 島田 義明
135	ABE Takayuki / 阿部 嵩之
136	OKUBO Jin / 大久保 陣



OCBC シンガポール・コンチネンタルサイクリングチーム SIN (シンガポール)

No.	Name / 選手名
61	RABOU Thomas / トマス・ラボウ
62	SHEPPARD Eric / エリック・シェパード
63	SAUDOMINS Phuchong / プーチョン・サイウドンシン
64	GOH Choon Huat / チュンファット・ゴ
65	HO Jun Rong / ジュンロン・ホ
66	LOW Ji Wen / ジーウェン・ロウ



愛三工業レーシングチーム JPN (日本)

No.	Name / 選手名
71	NISHITANI Taiji / 西谷 泰治
72	AYABE Takeaki / 綾部 勇成
73	MORI Kazuhiro / 盛 一大
74	FUKUDA Shimpei / 福田 真平
75	ITO Masakazu / 伊藤 雅和
76	HIRATSUKA Yoshimitsu / 平塚 吉光



Cプロジェクト JPN (日本)

No.	Name / 選手名
141	MORIMOTO Makoto / 森本 誠
142	YAMAMOTO Kazuhiro / 山本 和弘
143	OBA Masatoshi / 大場 政登志
144	SAWADA Kensyo / 澤田 賢匠
145	HARAKAWA Kosuke / 原川 浩介
146	ENDO Sekiho / 遠藤 績穂



日本ナショナルチーム JPN (日本)

No.	Name / 選手名
151	AKIMARU Yuya / 秋丸 湧哉
152	TERASAKI Takero / 寺崎 武郎
153	KUROEDA Shiki / 黒枝 士揮
154	WADA Chikara / 和田 力
155	YAMAMOTO Shun / 山本 隼
156	KIMURA Keisuke / 木村 圭祐

堺ステージ

1st STAGE 5/19 SUN

13:40 START
大仙公園周回コース<大阪府堺市>
走行距離:2.65km <個人タイムトライアル>

RESULTS リザルト

堺ステージ	天候 雨	気温 21.0°C (13:40現在)	観客数 61,000人
-------	---------	---------------------------	----------------

個人総合時間賞  西谷 泰治
愛三工業レーシングチーム

個人総合ポイント賞  西谷 泰治
愛三工業レーシングチーム

新人賞  ソ・ジョンヤン(徐俊鏞)
KSPO



区間1位プロフィール

西谷泰治(愛三工業レーシングチーム)

1981年2月生まれ。2003年より現チームに所属。2009年に全日本チャンピオンに輝いたのをはじめ、2010年<ツール・ド・ランカウイ(第4ステージ)>ステージ優勝、2011年<ジャパンカップ>第2位、2012年UCIアジアツアーランキングの5位入賞を果たす。第15回ツアー・オブ・ジャパンでは、東京ステージで優勝を果たしただけでなく、ポイント賞も獲得した。

■堺ステージ上位5名

順位	選手名	所属	タイム
1	西谷 泰治	愛三工業レーシングチーム	3'26".75
2	ソ・ジョンヤン(徐俊鏞)	KSPO	+03".70
3	盛 一大	愛三工業レーシングチーム	+04".27
4	野中 竜馬	シマノレーシングチーム	+05".01
5	内間 康平	チームNIPPO・デローザ	+05".46

■個人総合上位5名

順位	選手名	所属	タイム
1	西谷 泰治	愛三工業レーシングチーム	3'26"
2	ソ・ジョンヤン(徐俊鏞)	KSPO	+04"
3	盛 一大	愛三工業レーシングチーム	+05"
4	野中 竜馬	シマノレーシングチーム	+05"
5	内間 康平	チームNIPPO・デローザ	+06"



●表彰式プレゼンター

斧 隆夫
堺ステージ実行委員長



雨の個人タイムトライアル、西谷泰治が優勝



ツアー・オブ・ジャパンの第1ステージは、大阪府堺市の仁徳天皇陵に隣接する大仙公園周回コースでの、2.65kmの個人タイムトライアルで幕を開けた。朝方は初夏にふさわしい日差しが照りつけたが、昼前から徐々に雨が降り始め、タイムトライアルは終始雨模様の中で行われた。

午後1時40分スタートの秋丸湧哉(日本ナショナルチーム)を皮切りに全16チーム、95人の選手が、30秒間隔で1人ずつ出走。まず9番目にスタートした盛一大(愛三工業レーシングチーム)が、3分31秒台の好タイムを記録してトップに立った。続いて24番目にスタートした西谷泰治(同)が、チームメートの記録を5秒近く短縮する3分26秒台を出し、この時点で愛三勢が暫定1、2位を占めた。

レース後半は雨が強くなり、路面状況も悪化。各チームとも後半にエース級の選手が出走したが、わずかにソ・ジョンヤン(KSPO)が3分30秒台のタイムで西谷と盛の間に入ったのみ。昨年のツアー・オブ・ジャパン最終ステージで勝利している西谷が、年をまたいでの“2連勝”となり、総合首位の証であるグリーンジャージに自身初めて袖を通した。

「第1ステージで、勝った人間がリーダージャージを取れるので、すごく大事だとは思っていましたが、正直取れると思ってなかったので、本当に嬉しいです」と西谷はコメント。

外国人選手は雨の路面を攻めあぐねてタイムを伸ばせず、上位6人中4人を日本人選手が占めた。



美濃ステージ

2nd STAGE 5/21 TUE

9:15 START
 旧今井家住宅前→横越→美濃和紙の里会館前周回
 コース<岐阜県美濃市>走行距離:160.7km
 <(パレード4.0km) 11.6km+ (21.3km×7周)>

RESULTS リザルト

美濃 ステージ	天候 晴れ	気温 21.0°C (9:15現在)	観客数 22,000人
---------	----------	--------------------------	----------------

- 個人総合時間賞**  パク・ソンビャク(朴晟伯) KSP0
- 個人総合ポイント賞**  パク・ソンビャク(朴晟伯) KSP0
- 個人総合山岳賞**  チャン・ジェ・ジャン チャンピオンシステム・プロサイクリングチーム
- 新人賞**  アンドレア・フランチェスコ・パリーニ ランプレ・メリダ

区間1位プロフィール
 パク・ソンビャク(朴晟伯) (KSP0)
 1985年2月生まれ。韓国出身。韓国の国内選手権をはじめ、アジア選手権やアジア大会でも勝利経験をもつ韓国を代表する選手。日本では、2004年と2010年<ツール・ド・北海道>ステージ優勝を2勝ずつ挙げた経歴を持つ。梅丹本舗チームに所属していたこともあるなど、日本のファンにはおなじみの選手。

■美濃ステージ上位5名

順位	選手名	所属	タイム
1	パク・ソンビャク(朴晟伯)	KSP0	3:59'23"
2	ミケーレ・メルロー	ヴェーニファンティーニ・セッレイタリア	+00'00"
3	マキシミアノ・リケーゼ	ランプレ・メリダ	+00'00"
4	ウィリアム・ウォーカー	ドラバックサイクリング	+00'00"
5	アンドレア・フランチェスコ・パリーニ	ランプレ・メリダ	+00'00"

■個人総合上位5名

順位	選手名	所属	タイム
1	パク・ソンビャク(朴晟伯)	KSP0	4:02'50"
2	マキシミアノ・リケーゼ	ランプレ・メリダ	+00'02"
3	西谷 泰治	愛三工業レーシングチーム	+00'02"
4	アンドレア・フランチェスコ・パリーニ	ランプレ・メリダ	+00'06"
5	ソ・ジョンヤン(徐俊鏞)	KSP0	+00'09"



●表彰式プレゼンター
 土本 恭正
 美濃ステージ実行委員長



第2ステージは「うだつの上がる町並み」で知られる岐阜県美濃市の旧市街をスタートし、21.3kmの周回を7周半する160.7kmのレース。スプリント狙いのチームが主導権を握るスピードステージだ。
 レースはスタート直後にチャン・ジェ・ジャン(チャンピオンシステム・プロサイクリングチーム)とジャン・ジミン(KSP0)の韓国人選手2人が抜け出し、集団に約10分の大差を付ける展開となった。中盤からリーダーチームの愛三工業に加え、スプリントを狙うランプレ・メリダやヴェーニファンティーニ・セッレイタリアが集団の牽引に加わりペースアップ。残り1周を前に逃げは吸収された。最終周回はゴールスプリントをにらんだ位置取り争いが繰り広げられ、残り1kmの直線路に突入。終盤主導権を握ったイタリア勢同士の勝負かと思われたが、ゴール前200mで先頭に躍り出たのはパク・ソンビャク(KSP0)。そのままゴールラインを先頭で駆け抜けた。
 残り1kmで中切れが発生したため、タイム差なしの先頭集団はわずか5人。日本人最高位は窪木一茂(マトリックス パワータグ)で4秒遅れの10位だった。グリーンジャージを着る西谷泰治(愛三工業レーシングチーム)は11位で、総合首位の座を明け渡した。
 「最終コーナーを5番手あたりの良いポジションで抜けられたことが勝利に結びついた。今日は非常に幸運だった」と話すパクは、個人総合成績とポイント賞で首位に立った。韓国勢の活躍が目立つステージとなった。

パクがスプリント勝利で総合も奪取 韓国勢活躍



●パレード走行
 古田 肇 岐阜県知事(右)
 石川 道政 美濃市長(中央)
 佐藤 武彦 岐阜県議会議員(左)

南信州ステージ

3rd STAGE 5/22 WED

8:45 START
飯田駅→下久堅周回コース→松尾総合運動場前
＜長野県飯田市＞走行距離：148.0km
＜(パレード7.3km) (12.2km×12周) + 1.6km＞

RESULTS リザルト

南信州 ステージ	天候 晴れ	気温 18.0℃ (8:45現在)	観客数 35,000人
----------	----------	-------------------------	----------------

個人総合時間賞	 ジュリアン・デービット・アレドンド チーム NIPPO・デローザ
個人総合ポイント賞	 ピエールパオロ・デネグリ ヴィーニファンティーニ・セッレイタリア
個人総合山岳賞	 ダビデ・ヴィガノ ランプレ・メリダ
新人賞	 ジュリアン・デービット・アレドンド チーム NIPPO・デローザ



区間1位プロフィール

ピエールパオロ・デネグリ (ヴィーニファンティーニ・セッレイタリア)
1986年6月生まれ。イタリア出身。2010年より現チームに所属。
＜ツアー・オブ・オマーン＞、＜ジロ・デ・イタリア＞など、ヨーロッパ、アジア圏のレースで活躍。2012年に＜トロフェオ・マッテオティ (イタリア)＞で優勝を果たすほか、今年に入り＜グランプリ・ピノ・チェラミ (ベルギー)＞で上位入賞を果たす。

■南信州ステージ上位5名

順位	選手名	所属	タイム
1	ピエールパオロ・デネグリ	ヴィーニファンティーニ・セッレイタリア	3:52'40"
2	フォルツナー・バリアーニ	チーム NIPPO・デローザ	+00'00"
3	ジュリアン・デービット・アレドンド	チーム NIPPO・デローザ	+00'00"
4	クリスティアーノ・モングツジ	ヴィーニファンティーニ・セッレイタリア	+00'20"
5	ダレン・ラフォーン	ドラパックサイクリング	+00'20"

■個人総合上位5名

順位	選手名	所属	タイム
1	ジュリアン・デービット・アレドンド	チーム NIPPO・デローザ	7:55'40"
2	フォルツナー・バリアーニ	チーム NIPPO・デローザ	+00'02"
3	ダレン・ラフォーン	ドラパックサイクリング	+00'24"
4	西園良太	チャンピオンシステム・プロサイクリングチーム	+00'24"
5	クリスティアーノ・モングツジ	ヴィーニファンティーニ・セッレイタリア	+00'30"



●表彰式プレゼンター
牧野 光朗
飯田市長

MINAMI SHINSHU STAGE



第3ステージは長野県の飯田駅前をパレードスタートし、高低差の激しい12.2kmの周回コースを12周した後に、松尾総合運動場前にゴールする148km。厳しいコースが選手を苦しめ、例年ここで総合争いが大きく動く重要なステージだ。

午前8時45分、飯田市長の先導でパレードがスタート。レースは1周目から有力チームがアタックを仕掛け、2周目には地元飯田市在住の福島晋一(チーム NIPPO・デローザ)を含む6人の逃げが形成された。

メイン集団も有力チームがベースを保ち続け、中盤には上りでのアタックから大きく分裂。総合首位のバク(KSPO)らスプリンターは後方集団へと置き去りにされた。

終盤、残り1周に単独先頭で突入したのは、クリスティアーノ・モングツジ(ヴィーニファンティーニ・セッレイタリア)で、これを9人の集団が追走する。上りで NIPPO のジュリアン・アレドンド、フォルツナー・バリアーニ、ヴィーニのピエールパオロ・デネグリがモングツジに追い付き、先頭は NIPPO とヴィーニが2対2の争いとなった。

ゴールに至る攻防でモングツジが脱落し、勝負は残る3人でのゴールスプリント争いに。2対1と数の上では不利だったデネグリがこれを制して優勝した。日本人は西園良太(チャンピオンシステム・プロサイクリングチーム)の7位が最高。

個人総合ではアレドンドが首位に立ち、NIPPO 勢が1、2位となった。この日だけで23人がリタイアする厳しいステージとなった。

デネグリが優勝 NIPPO 勢が総合1、2位に



富士山ステージ

4th STAGE 5/24 FRI

10:00 START
 須走商店街→ふじあざみライン入口→富士山須走口5
 合目<静岡県駿東郡小山町>
 走行距離:11.4km <(パレード2.1km) ヒルクライム
 /標高差約1,200m 登坂>

RESULTS リザルト

富士山 ステージ	天候 晴れ	気温 22.0°C (10:00現在)	観客数 5,500人
----------	----------	---------------------------	---------------

個人総合時間賞	 フォルツナー・バリアーニ チーム NIPPO・デローザ
個人総合ポイント賞	 ピエールパオロ・デネグリ ヴィーニファンティーニ・セツレイタリア
個人総合山岳賞	 ダビデ・ヴィガノ ランプレ・メリダ
新人賞	 ジュリアン・デービット・アレドンド チーム NIPPO・デローザ



区間1位プロフィール

ベンジャミン・ディボール(ヒューオンサーモン・ジェネシスウェルスアドヴァイザーズ)
 1989年4月生まれ。オーストラリア出身。2012年にオーストラリアのTEAM JAYCO SKINより現チームに移籍。前チーム時代の2011年は、オーストラリアのU23ロードチャンピオンに輝く。今年になり、<ニュージーランドサイクルクラシック>、<オセアニアサイクルチャンピオンシップ>で上位入賞を果たし、好調のまま TOJ に臨む。

富士山ステージ上位5名

順位	選手名	所属	タイム
1	ベンジャミン・ディボール	ヒューオンサーモン・ジェネシスウェルスアドヴァイザーズ	39'47"
2	フォルツナー・バリアーニ	チーム NIPPO・デローザ	+00'04"
3	ダミアン・モニエ	ブリヂストン アンカー	+00'46"
4	ジュリアン・デービット・アレドンド	チーム NIPPO・デローザ	+01'14"
5	ネイサン・アール	ヒューオンサーモン・ジェネシスウェルスアドヴァイザーズ	+02'08"

個人総合上位5名

順位	選手名	所属	タイム
1	フォルツナー・バリアーニ	チーム NIPPO・デローザ	8:35'33"
2	ジュリアン・デービット・アレドンド	チーム NIPPO・デローザ	+01'08"
3	ダミアン・モニエ	ブリヂストン アンカー	+01'36"
4	トマ・ルバ	ブリヂストン アンカー	+02'39"
5	ベンジャミン・ディボール	ヒューオンサーモン・ジェネシスウェルスアドヴァイザーズ	+03'18"



●表彰式プレゼンター

野木 文夫
 小山町商工会会長



ディボールがコースレコード 総合首位はバリアーニに



第4ステージは静岡県小山町のふじあざみラインを須走口5合目まで、約1200mの標高差を11.4kmで一気に駆け上がるヒルクライム。平均勾配10%、最大勾配は22%に達する。個々の能力差が如実に表れ、総合成績の大勢を決定づけるステージだ。

今年はこれまでの富士山ステージでは初めて、須走の市街地をパレードしてからのスタートとなった。

レースは4km地点を過ぎて、先頭は海外選手のみ10人ほどの集団。少し離れて西園良太(チャンピオンシステム・プロサイクリングチーム)らのグループが前を追いかける。

6km地点を過ぎて、昨年このステージで優勝したフォルツナー・バリアーニ(チーム NIPPO・デローザ)が単独先頭に立ち、徐々に後続との差を広げ始めた。グリーンジャージを着るジュリアン・アレドンド(同)も後退してしまう。

唯一、先頭との差をキープしていたのが、2番手を走るベンジャミン・ディボール(ヒューオンサーモン・ジェネシスウェルスアドヴァイザーズ)だ。ディボールは残り2kmからやや失速したバリアーニとの差を詰め、ラスト500mでついに先頭に並んだ。

そのまま苦悶の表情に歪むバリアーニを抜き去ったディボールがステージ優勝。39分47秒のタイムは、史上初めて40分を切るコースレコードだ。レースでは「自分のテンポを守って走った」という。2位に敗れたバリアーニだが、総合では首位に立った。日本人最高位は飯野智行(宇都宮ブリツェン)の8位だった。

そのままする表情に歪むバリアーニを抜き去ったディボールがステージ優勝。39分47秒のタイムは、史上初めて40分を切るコースレコードだ。レースでは「自分のテンポを守って走った」という。2位に敗れたバリアーニだが、総合では首位に立った。日本人最高位は飯野智行(宇都宮ブリツェン)の8位だった。

伊豆ステージ

5th STAGE 5/25 SAT

9:30 START
日本サイクルスポーツセンター周回コース
＜静岡県伊豆市＞
走行距離：146.4km < 12.2km × 12周＞

RESULTS リザルト

伊豆ステージ	天候 晴れ	気温 22.0°C (9:30現在)	観客数 18,000人
--------	----------	--------------------------	----------------

個人総合時間賞	 フォルツナート・バリアーニ チーム NIPPO・デローザ
個人総合ポイント賞	 ピエールパオロ・デネグリ ヴィーニファンティーニ・セツレイタリア
個人総合山岳賞	 ダビデ・ヴィガノ ランプレ・メリダ
新人賞	 ジュリアン・デービット・アレドンド チーム NIPPO・デローザ



区間1位プロフィール

ネイサン・アール (ヒューオンサーモン・ジェネシスウェルズアドヴァイザーズ)
1988年6月生まれ。オーストラリア出身。2010年より現チームに所属。今年に入り、＜ニュージーランドサイクルクラシック＞で総合優勝、山岳賞2位に輝いたほか、＜ツール・ド・台湾＞でステージ優勝を果たすほか、総合でも上位に入賞。来季2014年は、ヨーロッパの TEAM SKY に移籍が決まっている。

■伊豆ステージ上位5名

順位	選手名	所属	タイム
1	ネイサン・アール	ヒューオンサーモン・ジェネシスウェルズアドヴァイザーズ	4:29'38"
2	エリア・ファビッリ	ランプレ・メリダ	+00'00"
3	ピエールパオロ・デネグリ	ヴィーニファンティーニ・セツレイタリア	+00'00"
4	ロビー・ハッカー	ドラパックサイクリング	+00'00"
5	西菌良太	チャンピオンシステム・プロサイクリングチーム	+00'00"

■個人総合上位5名

順位	選手名	所属	タイム
1	フォルツナート・バリアーニ	チーム NIPPO・デローザ	13:05'13"
2	ジュリアン・デービット・アレドンド	チーム NIPPO・デローザ	+01'11"
3	ダミアン・モニエ	プリヂストンアンカー	+01'36"
4	トマ・ルバ	プリヂストンアンカー	+02'39"
5	ベンジャミン・ディボール	ヒューオンサーモン・ジェネシスウェルズアドヴァイザーズ	+03'26"



●表彰式プレゼンター

菊池 豊
伊豆市長



第5ステージは静岡県伊豆市の日本サイクルスポーツセンターで、12.2kmの周回コースを12周する、146.4kmのレース。通常使われない裏コースや、日本競輪学校の構内道路も使用するスペシャルコースで、アップダウンが激しく、総合争いでは最後の攻防が繰り広げられる。

レースは序盤からプリヂストン アンカーの清水都貴、井上和郎、チーム UKYO の山下貴宏、日本ナショナルチームの寺崎武郎ら6人の逃げが先行。メイン集団はリーダーチームのチーム NIPPO・デローザがコントロールした。レース終盤、残り2周で逃げは捕えられ、カウンターアタックも決定的なものとならず、最後は集団での上りゴールスプリント争いに持ち込まれた。ゴール 300m 手前から先頭に立ったネイサン・アール (ヒューオンサーモン・ジェネシス ウェルズ アドヴァイザーズ) がそのまま逃げ切り、ステージ優勝を果たした。

優勝したアールは、「タフなステージなので、後ろの集団で可能な限り体力を温存した。残り半周で勝つチャンスがあると思い、「勝つぞ! 勝つぞ!」と自分に言い聞かせながら走った。ゴール 300m 手前で早めにアタックして後ろを見たら間が開いていて、それで勝つことができた」とレースを振り返った。

日本人では総合6位につける西菌良太 (チャンピオンシステム・プロサイクリングチーム) がタイム差なしの5位に入る健闘を見せた。総合首位はフォルツナート・バリアーニ (チーム NIPPO・デローザ) が堅守した。



IZU STAGE

アールが 上りのスプリントを制する 西菌良太5位



東京ステージ

6th STAGE 5/26 SUN

11:00 START
日比谷シティ前→大井埠頭周回コース<東京都>
走行距離：112.7km<(パレード1.2km) 14.7km + (7.0km × 14周)>

TOKYO STAGE

RESULTS リザルト

東京ステージ	天候 晴れ	気温 24.0°C (11:00現在)	観客数 125,000人
--------	----------	---------------------------	-----------------

- 個人総合時間賞**  フォルツナー・バリアーニ
チーム NIPPO・デローザ
- 個人総合ポイント賞**  ピエールパオロ・デネグリ
ヴィーニファンティーニ・セツレイタリア
- 個人総合山岳賞**  ダビデ・ヴィガノ
ランプレ・メリダ
- 新人賞**  ジュリアン・デービット・アレドンド
チーム NIPPO・デローザ

区間1位プロフィール
西谷泰治 (愛三工業レーシングチーム)
1981年2月生まれ。2003年より現チームに所属。2009年に全日本チャンピオンに輝いたのははじめ、2010年<ツール・ド・ランカウイ (第4ステージ)>ステージ優勝、2011年<ジャパンカップ>第2位、2012年UCIアジアツアーランキングの5位入賞を果たす。第15回ツアー・オブ・ジャパンでは、東京ステージで優勝を果たし、東京ステージ2連覇を達成した。

■東京ステージ上位5名

順位	選手名	所属	タイム
1	西谷 泰治	愛三工業レーシングチーム	2:34'31"
2	マキシミリアーノ・リケーゼ	ランプレ・メリダ	+00'00"
3	吉田 隼人	シマノレーシングチーム	+00'00"
4	アディック・オスマン	チャンピオンシステム・プロサイクリングチーム	+00'00"
5	土井 雪広	チーム UKYO	+00'00"

■個人総合上位5名

順位	選手名	所属	タイム
1	フォルツナー・バリアーニ	チーム NIPPO・デローザ	15:39'44"
2	ジュリアン・デービット・アレドンド	チーム NIPPO・デローザ	+01'11"
3	ダミアン・モニエ	ブリヂストン アンカー	+01'36"
4	トマ・ルバ	ブリヂストン アンカー	+02'39"
5	ベンジャミン・ディボール	ヒューオンサーモン・ジェネシスウェルズアドバイザーズ	+03'26"



●表彰式プレゼンター
岩城 光英
参議院議員
自転車活用推進議員連盟事務局長



◀パレード走行
岩城 光英 (左)
参議院議員
自転車活用推進議員連盟事務局長
小泉 昭男 (中央)
参議院議員
自転車活用推進議員連盟
自転車活用推進プロジェクトチーム座長
今中 大介 (右)
大会オフィシャルコメンテーター



西谷 泰治が東京ステージ2連覇 総合もバリアーニが連覇

最終となる第6ステージは東京の日比谷シティ前をスタートして、大井埠頭での7.0km周回を14周する、全長112.7kmのコース。ほぼ完全な平坦路で行われるスプリンター向けのレースだ。

スタート直後から、集団ではアタック合戦。逃げが決まらないまま大井埠頭の周回に入った。ようやく決まったのは、中村誠 (宇都宮ブリッツェン) の単独逃げ。駆けつけた観衆からの歓声を受けながら、長距離の独走となった。集団はチーム NIPPO・デローザがコントロール。

残り2周で中村はようやく吸収され、代わって海外選手3人がアタック。あわや逃げ切りと思われたが、まだ勝利がないランプレ・メリダが集団先頭を強力に牽引し、ラスト1kmで集団は1つに戻った。

そのまま混沌の中でのスプリント争いを制したのは西谷泰治 (愛三工業レーシングチーム)。堺での第1ステージに続く今大会2勝目、東京ステージは昨年に続く連覇となった。実は大会途中で体調を崩し、リタイアする可能性もあったという。

「このステージで期待してくれているファンの皆さんもいらっしゃるんで、とにかくスタートラインに並んで、やれることをやろうと思っていた。こんな僕だったけど、チームメートがしっかりサポートしてくれたので、安心して走ることができた」と西谷は安堵の表情で語った。

総合トップの座はフォルツナー・バリアーニ (チーム NIPPO・デローザ) が守り、こちらも昨年に続く大会2連覇となった。

バリアーニ連覇!!



個人総合時間賞
フォルツナー・バリアーニ

個人総合時間 General Individual Time Classification

順位	選手名	所属	タイム	タイム差
1	フォルツナー・バリアーニ	チーム NIPPO・デローザ	15:39'44"	0'00"
2	ジュリアン・デービット・アレドンド	チーム NIPPO・デローザ	15:40'55"	1'11"
3	ダミアン・モニエ	ブリヂストン アンカー	15:41'20"	1'36"
4	トマ・ルバ	ブリヂストン アンカー	15:42'23"	2'39"
5	ベンジャミン・ディボール	ヒューオン・ジェネシス	15:43'10"	3'26"
6	西園 良太	チャンピオンシステム	15:43'30"	3'46"
7	クリスティアーノ・モングジ	ヴィーニ ファンティエニ	15:43'59"	4'15"
8	ダレン・ラフォーン	ドラバック サイクリング	15:44'03"	4'19"
9	ネイサン・アール	ヒューオン・ジェネシス	15:44'54"	5'10"
10	ロビー・ハッカー	ドラバック サイクリング	15:44'55"	5'11"
11	エリア・ファビッリ	ランプレ・メリダ	15:46'20"	6'36"
12	土井 雪広	チーム UKYO	15:46'46"	7'02"
13	ジャイ・クロフォード	ヒューオン・ジェネシス	15:46'57"	7'13"
14	飯野 智行	宇都宮ブリツェン	15:47'05"	7'21"
15	ピエールパオロ・デネグリ	ヴィーニ ファンティエニ	15:49'08"	9'24"
16	平塚 吉光	愛三工業レーシングチーム	15:49'10"	9'26"
17	伊藤 雅和	愛三工業レーシングチーム	15:49'51"	10'07"
18	シモーネ・カンパニャーロ	チーム NIPPO・デローザ	15:52'56"	13'12"
19	初山 翔	ブリヂストン アンカー	15:53'36"	13'52"
20	窪木 一茂	マトリックス パワータグ	15:53'38"	13'54"
21	吉田 隼人	シマノレーシングチーム	15:55'21"	15'37"
22	ベルナルド・サルツバージャー	ドラバック サイクリング	15:55'31"	15'47"
23	伊丹 健治	ブリヂストン アンカー	15:57'56"	18'12"
24	クレイグ・ルイス	チャンピオンシステム	15:58'44"	19'00"
25	入部 正太郎	シマノレーシングチーム	15:58'48"	19'04"
26	ダビデ・ヴィガノ	ランプレ・メリダ	16:00'57"	21'13"
27	阿部 嵩之	チーム UKYO	16:01'45"	22'01"
28	エリック・シェパード	OCBC シンガポール	16:02'17"	22'33"
29	西村 大輝	シマノレーシングチーム	16:03'02"	23'18"
30	フロリス・ゴジネン	ドラバック サイクリング	16:03'08"	23'24"
31	狩野 智也	チーム UKYO	16:04'19"	24'35"
32	福島 晋一	チーム NIPPO・デローザ	16:05'18"	25'34"
33	アディック・オスマン	チャンピオンシステム	16:05'40"	25'56"
34	畑中 勇介	シマノレーシングチーム	16:07'38"	27'54"
35	マッシモ・グラツィアート	ランプレ・メリダ	16:08'08"	28'24"

個人総合ポイント General Individual Points Classification



個人総合ポイント賞 ピエールパオロ・デネグリ

順位	選手名	所属	堺	美濃	南信州	富士山	伊豆	東京	総合ポイント
1	ピエールパオロ・デネグリ	ヴィーニ ファンティエニ			25		16	15	56
2	西谷 泰治	愛三工業レーシングチーム	10	6				25	41
3	マキシミアノ・リケーゼ	ランプレ・メリダ	2	16				20	38
4	ネイサン・アール	ヒューオン・ジェネシス			5		25		30
5	フォルツナー・バリアーニ	チーム NIPPO・デローザ	3	20			7		30
6	ジュリアン・デービット・アレドンド	チーム NIPPO・デローザ	8	16			4		28
7	バク・ソンビャク (朴晟伯)	KSPO		25					25
8	土井 雪広	チーム UKYO		2			10	12	24
9	エリア・ファビッリ	ランプレ・メリダ			3			20	23
10	清水 都貴	ブリヂストン アンカー					13	9	22

個人総合時間賞プロフィール

フォルツナー・バリアーニ (チーム NIPPO・デローザ)
1974年7月6日生まれ。イタリア出身。セライタリアやパナリアなど有力プロチームに所属し、これまでジロ・デ・イタリアに7回出場、2008年には総合12位という成績をおさめている。

今回、ステージ優勝はできなかったけど、昨年引き続きグリーンジャージ(個人総合時間賞)を手にてきてうれしいです。昨年よりとてもレベルの高い戦いで、勝ち抜くことはとても大変でしたが、昨年の経験があったので落ち着いてレースに臨めました。我々のチームにいる日本人選手たちも素晴らしいアシストをしてくれた。全体的に日本人選手のレベルも上がってきていると思う。

ーフォルツナー・バリアーニー

個人総合山岳 General KOM Classification



個人総合山岳賞 ダビデ・ヴィガノ

順位	選手名	所属	堺	美濃	南信州	富士山	伊豆	東京	総合ポイント
1	ダビデ・ヴィガノ	ランプレ・メリダ		2	17		3		22
2	ロビー・ハッカー	ドラバック サイクリング			15		5		20
3	ベンジャミン・ディボール	ヒューオン・ジェネシス				15			15
4	フォルツナー・バリアーニ	チーム NIPPO・デローザ				12	1		13
5	ネイサン・アール	ヒューオン・ジェネシス			5	6			11
6	トマス・ラボウ	OCBC シンガポール					10		10
7	ダミアン・モニエ	ブリヂストン アンカー				10			10
8	福島 晋一	チーム NIPPO・デローザ			10				10
9	ジュリアン・デービット・アレドンド	チーム NIPPO・デローザ					8		8
10	トマ・ルバ	ブリヂストン アンカー				4	2		6

新人賞 Young Individual Time Classification



新人賞 ジュリアン・デービット・アレドンド

順位	選手名	所属	タイム
1	ジュリアン・デービット・アレドンド	チーム NIPPO・デローザ	15:40:55
2	ベンジャミン・ディボール	ヒューオン・ジェネシス	15:43:10
3	ネイサン・アール	ヒューオン・ジェネシス	15:44:54
4	ロビー・ハッカー	ドラバック サイクリング	15:44:55
5	エリア・ファビッリ	ランプレ・メリダ	15:46:20
6	飯野 智行	宇都宮ブリツェン	15:47:05
7	平塚 吉光	愛三工業レーシングチーム	15:49:10
8	伊藤 雅和	愛三工業レーシングチーム	15:49:51
9	初山 翔	ブリヂストン アンカー	15:53:36
10	窪木 一茂	マトリックス パワータグ	15:53:38

団体総合時間 General Team Time Classification

順位	所属	堺	美濃	南信州	富士山	伊豆	東京	総合時間
1	チーム NIPPO・デローザ	0:10'42"	11:58'21"	11:41'03"	2:02'50"	13:33'55"	7:43'33"	47:10'24"
2	ヒューオン・サーモン・ジェネシス ウェルズ アドヴァイザーズ	0:10'56"	11:58'25"	11:48'38"	2:04'15"	13:29'06"	7:43'33"	47:14'53"
3	ブリヂストン アンカー	0:11'03"	11:58'25"	11:47'09"	2:06'44"	13:29'16"	7:43'33"	47:16'10"
4	ドラバック サイクリング	0:10'47"	11:58'19"	11:47'09"	2:12'46"	13:29'08"	7:43'33"	47:21'42"
5	チーム UKYO	0:11'04"	11:58'34"	11:59'38"	2:14'55"	13:32'42"	7:43'33"	47:40'26"
6	チャンピオンシステム・プロサイクリングチーム	0:10'47"	11:58'25"	12:06'25"	2:14'09"	13:33'55"	7:43'33"	47:47'14"
7	ランプレ・メリダ	0:10'40"	11:58'22"	12:09'18"	2:16'34"	13:31'16"	7:43'33"	47:49'43"
8	愛三工業レーシングチーム	0:10'36"	11:58'25"	11:56'34"	2:15'40"	13:47'41"	7:43'33"	47:52'29"
9	ヴィーニ ファンティエニ・セツレ イタリア	0:10'54"	11:58'44"	11:56'11"	2:19'10"	13:47'23"	7:43'33"	47:55'55"
10	シマノレーシングチーム	0:10'53"	11:58'27"	12:14'10"	2:17'01"	13:32'03"	7:43'33"	47:56'07"
11	宇都宮ブリツェン	0:11'07"	11:58'41"	12:18'02"	2:16'12"	13:53'03"	7:43'48"	48:20'53"
12	マトリックス パワータグ	0:10'55"	11:59'04"	12:06'22"	2:20'04"	14:01'10"	7:44'05"	48:21'40"
13	日本ナショナルチーム	0:11'16"	11:59'52"	12:24'00"	2:19'49"	13:50'44"	7:44'32"	48:30'13"
14	OCBC シンガポール・コンチネンタルサイクリングチーム	0:11'29"	11:58'41"	12:25'53"	2:22'58"	13:59'50"	7:43'33"	48:42'24"
15	C プロジェクト	0:11'24"	12:01'02"	12:31'45"	2:25'22"	14:21'56"	7:43'33"	49:15'02"
—	KSPO							



団体総合時間賞 チーム NIPPO・デローザ





▲ 大会ポスター

▼ 大会HP <http://www.toj.co.jp/>



◀ 大会チラシ



▲ 大会プログラム

- ▲ 自転車専門誌／広告掲載
- ・(CYCLE SPORTS 5月号)
 - ・(BICYCLE CLUB 5月号)
 - ・(funride 6月号)



16th TOUR OF JAPAN
大会オフィシャルグッズ



16th Tour of Japan 総集編 BSフジ ~からだ一つ自転車一つで戦う男たち~ 2013年6月16日(日)13:00~13:55 放送



記者会見「すぽると!」フジテレビ
2月18日放送



「すぽると!」フジテレビ
5月19日放送



「すぽると!」フジテレビ
5月21日放送



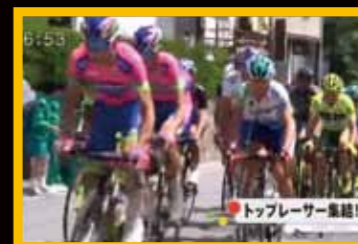
「NEWS 5 PLUS」岐阜放送
5月22日放送



「すぽると!」フジテレビ
5月22日放送



「イブニング信州」NHK長野
5月22日放送



「abnステーション」ABN長野朝日放送
5月22日放送



「すぽると!」フジテレビ
5月24日放送



「すぽると!」フジテレビ
5月25日放送



「ANNスーパーJチャンネル」静岡朝日放送
5月25日放送



「すぽると!」フジテレビ
5月26日放送



「Asia This Week」NHK BS1
6月2日放送

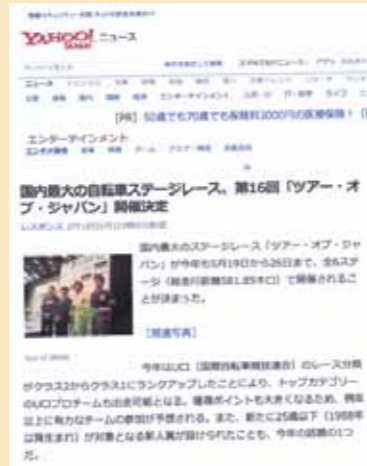
16th Tour of Japan 関連 OA 番組一覧

放送日	番組名	会社名	内容	エリア
2月18日 月	すぽると!	フジテレビジョン	記者会見	全国
5月19日 日	すぽると!	フジテレビジョン	堺ステージ結果	全国
5月21日 火	すぽると!	フジテレビジョン	美濃ステージ結果	全国
5月21日 火	eo光ニュース	ケイ・オプティコム	開幕情報	全国
5月22日 水	NEWS 5 PLUS	岐阜放送	美濃ステージ結果	地域
5月22日 水	すぽると!	フジテレビジョン	南信州ステージ結果	全国
5月22日 水	イブニング信州	NHK長野	南信州ステージ結果	地域
5月22日 水	信州845	NHK長野	南信州ステージ結果	地域
5月22日 水	SBCニュースワイド	信越放送	南信州ステージ結果	地域
5月22日 水	abnステーション	ABN長野朝日放送	南信州ステージ結果	地域
5月22日 水	16th TOUR OF JAPAN	飯田ケーブルテレビ	南信州ステージ結果	地域
5月24日 金	すぽると!	フジテレビジョン	富士山ステージ結果	全国
5月25日 土	すぽると!	フジテレビジョン	伊豆ステージ結果	全国
5月25日 土	ANNスーパーJチャンネル	静岡朝日放送	伊豆ステージ結果	地域
5月26日 日	すぽると!	フジテレビジョン	東京ステージ結果	全国
5月27日 月	とちぎ640	NHK宇都宮	宇都宮ブリッツェン特集	地域
6月2日 日	Asia This Week	NHK BS-1	KSPO 特集	全国
6月16日 日	16th Tour of Japan ~からだ一つ自転車一つで戦う男たち~	BSフジ	総集編	全国

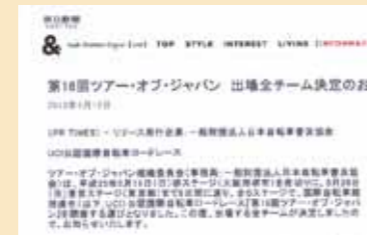
記者会見・事前告知



2月19日(火) 東京中日スポーツ



2月18日(月) yahoo!ニュース



4月16日(火) 朝日新聞デジタル



2月18日(月) サイクリスト



4月16日(火) MSNトピックス

2月19日(火) 朝日新聞

全ステージ



6月20日(木) CYCLE SPORTS



6月20日(木) BICYCLE21



6月20日(木) CICLISSIMO



6月20日(木) BICYCLE CLUB



6月20日(木) FUNRIDE

堺



5月19日(日) CYCLE SPORTS



5月19日(日) cyclowired



5月20日(月) 日刊スポーツ



5月20日(月) 朝日新聞(大阪)

美濃



5月21日(火) infoseek 楽天ニュース



5月21日(火) 中日新聞(岐阜)



5月22日(水) 47NEWS



5月22日(水) 中日スポーツ(名古屋)



5月22日(水) 読売新聞(岐阜)



5月21日(火) 朝日新聞(名古屋)



5月22日(水) 中日新聞(岐阜)



5月22日(水) 岐阜新聞(岐阜)



5月22日(水) 朝日新聞(名古屋)

南信州



5月23日(木) 朝日新聞(長野中南信)



5月22日(水) サイクリスト



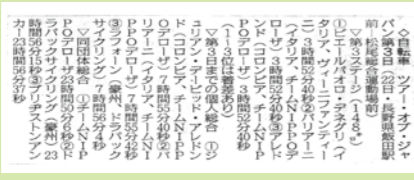
5月23日(木) 朝日新聞デジタル



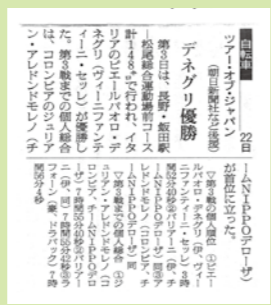
5月23日(木) 信州日報



5月23日(木) 信濃毎日新聞



5月23日(木) 中日新聞



5月23日(木) 朝日新聞(東京)



5月24日(金) 南信州新聞

富士山



5月25日(土) サイクリスト



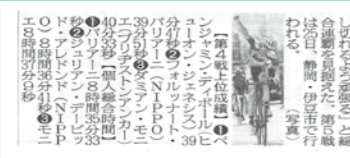
5月22日(水) 静岡新聞



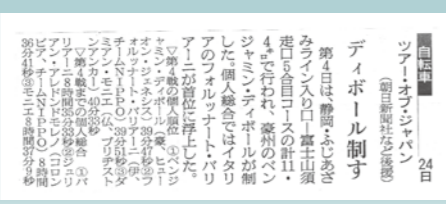
5月24日(金) nikkansports.com



5月25日(土) 朝日新聞(静岡)



5月25日(土) 日刊スポーツ(東京)



5月25日(土) 朝日新聞(東京)

パブリシティ (新聞・WEB・雑誌)



5月26日(日) 日刊スポーツ(東京)

伊豆

5月26日(日) 朝日新聞(東京)



5月26日(日) 静岡新聞



5月26日(日) 伊豆新聞(WEB)



5月26日(日) 東京中日スポーツ(東京)



5月24日(金) 伊豆新聞



5月25日(土) サイクリスト

東京



5月27日(月) 読売新聞(栃木)



5月27日(月) 朝日新聞(東京)



5月27日(月) 日刊スポーツ(東京)



5月22日(水) Weekly ガザテレビジョン(首都圏関東版)



5月27日(月) yahoo! ニュース



5月28日(火) 南信州新聞



5月28日(火) 信州日報



SAKAI 5/19 sun ▶ MINO 5/21 tue ▶ MINAMI-SHINSHU 5/22 wed ▶ FUJISAN 5/24 fri ▶ IZU 5/25 sat ▶ TOKYO 5/26 sun

SAKAI **FUJISAN**



MINO **IZU**



MINAMISINSHU **TOKYO**





